

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すりーはあと 東船橋教室教室			
○保護者評価実施期間	令和8年 5月 12日		～	令和8年 5月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和8年 5月 12日		～	令和8年 5月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 6月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営責任者が変わっていないこと。	事業所としての運営歴が長く、指導者(運営責任者)が変わっていない。障がいに対する深い知見をもって子どもと関わっている。またその考え方や情報を職員みんなで日々のミーティング等で共有している。	今後も、外部の研修受講や内部の勉強会を継続し、事業所全体で知識を深めていきたい。
2	利用日等に関わらず、いつでも気軽に相談支援を受けられる環境であること。	LINEを活用し、保護者が気軽に連絡を入れやすい環境にしている。また、事業所側からも子どもたちの様子を写真や動画でお知らせすることで、保護者の安心感につながっていると感じる。	保護者同士のつながりを深められる(学校や近所とは別の情報が共有できる)場を設けたい。
3	おやつが選べること。	毎日、おやつは大きさを含めて複数種類を準備している。好きな物を食べる楽しみや新しい物を選ぶワクワクした気持ちを一緒に味わっている。子どもたちもそれぞれ自分の好き嫌いを把握する機会になっていると思う。	アレルギーや苦手な物の把握と配慮を継続する。金額の範囲内で、バリエーションを充実させたい。1口食べてみる、というチャレンジの心を育てる機会に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の活動内容が固定化しやすい。	下校後の時間内で行える活動が限られている。 駐車場の有無等で利用できる場所に制限が出てしまう。	行動範囲と活動時間は変えられないため、その中でも子どもたちが思いきり活動できる環境を整えていく。 特性により、すりーはあとで好きな活動ができることが楽しみや明日への切り替えにつながる子もいるので、子どもの合わせた過ごし方で一緒に活動していきたい。
2	送迎できる学校が少ない。	車の所有台数・1日の利用人数の定員・大体の学校の下校時間が同じ時間帯である等が理由で、お迎えに行ける学校が数校に限られている。	現時点では、定員との兼ね合いにより送迎範囲を変更したり広げる予定はない。
3	高校卒業後の進路や就労等への知識が乏しい、繋がり等が少ない。	同じ経緯を持つ卒業生がいないため、具体例として提示するのが難しいと感じている。	保護者同士のつながりを深め、進路や就労等の情報共有をできる場をつくる。 子ども1人1人の得意不得意や特性についてをしっかりと理解しておく。 日々の関わりの中で、保護者が相談しやすい環境を整えておく。